

平成28年度

第138回

宮崎県の財政



表紙説明

宮崎県県民栄誉特別賞・県民栄誉賞受賞式

平成28年10月13日(木)、宮崎県県民栄誉特別賞・県民栄誉賞受賞式が行われました。

受賞式では、柔道男子監督として、7階級全てにおいてメダルを獲得された井上康生氏と、競泳男子800mリレーにおいて銅メダルを獲得し、個人としては3大会連続4個目のメダルを獲得された松田丈志氏に県民栄誉特別賞が、柔道男子100キロ級において銅メダルを獲得された羽賀龍之介氏に県民栄誉賞が知事より贈られました。

また、松田選手と二人三脚で生まれ、同選手の今回の偉業に大きく貢献された久世由美子コーチに特別功労賞が贈られました。

受賞者の皆様の活躍は、まさに宮崎県民の誇りであり、県民に大きな感動と活力を与えていただきました。

【表紙写真(上)】賞状を手にする羽賀氏、井上氏、松田氏、久世氏(左から)

宮崎自動車道 山之口スマートインターチェンジ開通

平成28年9月24日(土)、県内3箇所で開催を進めているスマートインターチェンジのうち、宮崎自動車道の山之口スマートインターチェンジが開通しました。

スマートインターチェンジの開通は県内初であり、今回の開通により高速道路へのアクセスが向上し、企業誘致や雇用創出など、経済、医療、防災の面からも様々な効果が考えられ、地域活性化が大いに期待されるところです。

【表紙写真(左下)】開通式のテープカット 【表紙写真(右下)】国道269号からの入り口

ま え が き

景気は緩やかな回復基調にあるものの、国及び地方は、少子高齢化等に伴う社会保障関係費の増大など大変厳しい財政状況の中、経済再生と財政健全化の両立に加え、人口減少問題への対応が喫緊の課題となっております。

さらに本県においては、県税など一般財源の大幅な伸びが期待できない中、社会保障関係費の増加に加え、防災・減災対策や公共施設の老朽化対策、国体開催に伴う施設整備などに多額の財政需要が見込まれることから、財政状況はさらに厳しさを増していくものと考えております。

このため、「第四期財政改革推進計画」に基づき、引き続き、歳入・歳出両面からの一体的な見直しを行い、収支不足の圧縮や県債残高の削減など、将来にわたって持続的に健全性が確保される財政構造への転換に向けた取組を着実に実施するとともに、県総合計画「未来みやざき創造プラン」及び「宮崎県まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げた、新しいゆたかさの実現に向けた様々な施策を推進しています。

この「宮崎県の財政」は、このような県の財政状況を県民の皆様幅広く知っていただくため、年2回公表しているもので、今回は、平成27年度決算の概要及び平成28年度上半期の財政運営の状況等を主な内容としております。

県民の皆様には、この冊子を通じて本県の財政状況について御理解いただき、今後の県政運営に積極的に御助言や御協力を賜りますようお願いいたします。

平成28年12月

宮崎県知事 河野俊嗣

目 次

第1	平成27年度一般会計の決算について	1
1	決算の概要	1
2	歳入の状況	3
3	歳出の状況	10
第2	平成27年度特別会計及び公営企業会計の決算について	25
第3	平成27年度普通会計の決算について	35
第4	平成27年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率について	37
第5	県民負担の状況について	39
第6	平成28年度予算の現況について	41
1	予算の補正状況	41
2	予算の執行状況	45
第7	県債及び一時借入金の状況について	47
1	県債の状況	47
2	一時借入金の状況	48
第8	県有財産の状況	49
1	公有財産	49
2	基 金	53